

土木学会選奨土木遺産「城ヶ島大橋」の認定について

1 概要

日本初の本格的な長大径間箱桁橋である「城ヶ島大橋」が、令和5年度土木学会選奨土木遺産に認定（令和5年9月22日）されました。これは、土木学会が、土木遺構の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、近代土木遺産を対象に認定しているものです。

2 受賞理由

「城ヶ島大橋」は、鋼床版箱桁形式を採用し、種々の構造的課題を応力測定試験等により解決し、その後の橋梁技術発展の礎となった橋梁であるため。

3 「城ヶ島大橋」について

完成年	昭和35年（西暦1960年）
諸元・形式等	橋長575m、幅員11m 中央主径間 三径間連続鋼床版箱桁橋 (70m+95m+70m) 側径間 PC単純桁ポストテンション式 39m×7連、30.97m×1連、24.07m×1連
所在地	三浦市晴海町から三崎町城ヶ島 地先
管理者	神奈川県 環境農政局 東部漁港事務所



【本資料に関する問い合わせ先】

都市環境部都市計画課都市計画グループ

電話：046-882-1111（内線272） E-mail：toshi0101@city.miura.kanagawa.jp